



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2025.4.23(No.3241)
週報 No.36

ロータリーはステージ・
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南雲博文
会 長／渡辺良一
会長エレクト／柳取崇之(クラブ奉仕A)
副 会 長／西山徳芳
幹 事／船越良則
S A A／落合孝夫
会 計／小林吾郎
直前会長／吉井直樹
会長ノミニー／小林吾郎(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:57名中40名
■先々週出席率:82.14%

【ゲスト】

・三條市教育委員会 教育センター
統括指導主事 畑 宏幸 様
教育総務課 庶務係長 井上貴子 様

【ビジター】

・三條東RC 大竹賢一 会長、
栗山正男 会長エレクト、
名古屋孝徳 幹事

【先週のメークアップ】

[4.17] 三條東RCへ
・石橋育於さん、白鳥 賢さん、
・荻根澤隆雄さん
[4.19] 森山良子エラールピアノコンサート
同時開催ポリオワクチンパネル展・
募金活動へ
・渡辺良一さん、船越良則さん、
・渋谷政道さん、野水靖之さん
[4.22] 三條北RCへ
・白鳥 賢さん、小越憲泰さん、
・中林順一さん、成田秀雄さん、
・高橋俊樹さん



2024～2025 年度国際ロータリーのテーマ



「里山のカタクリ」

会長挨拶

渡辺良一 会長



皆さんこんにちは。昨日の三條新聞に白倉理事長と滝沢市長、今朝は高橋名誉会員と滝沢市長が掲載されていました。メンバーの皆さんの顔を見つけると嬉しくなっています。

先週は新竹城中RCとの姉妹クラブ締結調印式が無事終了いたしました。

皆様のご協力ありがとうございました、感謝いたします。

それから、先週19日には三條市合併20周年記念として森山良子エラールピアノ・コンサートに野水さん・渋谷さん・船橋幹事、私がロータリーの“END POLIO NOW”として参加いたしました。お疲れ様でした。

本日の話題をお話いたします。今日は加茂と北越戦争(戊辰戦争)について時系列で追ってお話いたします。

■慶応4年【1868】

5月2日(6/21) 小千谷談判が不調に終わり、長岡藩は開戦を余儀なくされ開戦します。

5月19日(17日後)、長岡城落城。

長岡藩は榎峠(えのきとうげ)に布陣、その留守を新政府軍の奇襲によって城を奪われてしまう。長岡藩はいったん栃尾に退いて体勢を整えると加茂に進出。

5月22-23日(3日後)の2日間 加茂軍議

軍議は会津藩の招集により、市川邸で始まった。

7月24日 継之助は魔物が住むと言われた八丁沖を700名の兵とともに渡渉(としょう)、奇襲作戦により見事に長岡城奪還に成功する。

7月29日(5日後)、長岡城は再び落城。奥羽越列藩同盟軍加茂に転戦、加茂山(会津藩)、下条(桑名藩)布陣。

8月4日(6日後)、薩摩・長州軍は天神林から下条川沿いに下興野を進軍、下保内から進行してきた新政府軍と共に、大原台場(現在のコンバーター)に布陣していた同盟軍に一斉攻撃をかけた。同盟軍は持ちこたえることが出来ずに八十里越をへて会津に向かい敗走。少し前まで畑や田んぼから砲弾等が出土した。

8月14日 西郷吉二郎戦死、五十嵐川付近での戦傷がもとで戦死。(葬所は越後高田。墓所は上越市金谷山公園にあり、鹿児島市の西郷家の墓地には遺髪が埋葬されている。)

8月16日 河合継之助死亡、会津塩沢で42歳。

この戦いは官軍にとってもかなりの痛手になり、西郷隆盛が出向かなくてはならない激しい戦になったのは事実です。

話は変わりますが、山形の鶴岡に行ったとき資料館に西郷隆盛の写真があり、当時の山形は西郷隆盛の施政に対しても感謝していたと言う内容の説明文が掲載されていました。新潟の戦の激しさが影響したのではないかと、私なりに思っています。

そして、もともと朝廷と所縁のあった加茂が幕末賊軍として、戦いの場になると言う、歴史的な運命を感じました。

(参考)

(加茂軍議)5月22日の正午過ぎに、加茂の大庄屋市川邸で軍議が開かれ、米沢藩・会津藩・長岡藩・桑名藩・上ノ山藩・村上藩・村松藩の各藩が出席した。しかし各藩それぞれ、列藩同盟に参加した主旨や目的が微妙に異なっていた。長岡藩は軍事総督の河井継之助が出席し、長岡城奪還を強く主張した。しかし他藩では、長岡城を奪還できても、その後、総合的な戦略を見通せないことから意志統一できなかった。また、米沢藩が断ったことから同盟軍の総督が決まらず、各藩それぞれ、意見を持つ烏合の衆となっていた。この日の会合で、河井継之助は、見附を攻略し、長岡城奪

還は可能であると雄弁に主張した。また、長岡城落城の際には、村松藩に裏切りの疑いがあったと咎められてた。継之助に疑いをかけられた村松藩用人田中勘解由は会議の場で自刃を図っている。このことがかえって、会議の流れを、反薩長で列藩同盟内の求心力を高める結果となった。結局、継之助が主張した案に沿って列藩同盟軍を三軍に分け、見附を攻略し、長岡城奪還を目指すこととなった。



幹事報告

船越良則 幹事



◎燕三条エラール推進委員会より

「三条市合併20周年記念

森山良子×エラールピアノコンサート後援の御礼」

◎三条南RCより

「ポリオ撲滅募金 集計結果について」

4月19日(土)に三条市体育文化会館で行われた三条市合併20周年記念 森山良子コンサートの協賛事業として市内4RCでポリオ撲滅募金活動を行いました。募金額の合計は108,232円でした。1クラブ27,058円分配されましたので、ロータリー財団へポリオ撲滅寄付として送金いたします。

◎三条ローターアクトクラブより

「5月第一例会のご案内」

日 時 5月1日(木) 19:30~

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

◎室賀ガバナーエレクト事務所より

「室賀年度ロータリー防減災セミナーのご案内」

日 時 5月11日(日) 14:00~17:00

会 場 長岡グランドホテル

◎次週30日(水)は、クラブ休会です。5月7日(水)は、祝日の週につき休会です。
お間違えのないようお願いいたします。

ニコニコBOX

三条東RC 大竹賢一 会長

本日はよろしくお願いします。

三条東RC 栗山正男 会長エレクト

協力します。

三条東RC 名古屋孝徳 幹事

今日はよろしくお願いいたします。

渡辺良一 会長

先週の新竹城中RC調印式・歓迎会にご協力いただきありがとうございます。

畑様、井上様、卓話よろしくお願ひいたします。

荻根澤隆雄さん

先週行われました新竹城中RC歓迎会では友好クラブ委員、親睦委員の皆様ご苦勞様でした。

良かったですね!!

船越良則さん

先週の調印式・歓迎会、皆様ありがとうございました。19日(土)には、森山良子さんのコンサートで市民合唱団として市内4クラブの代表の方々と歌ってきました。本当に良い経験をさせていただきました。

中村友昭さん

日本さくら名所100選にも選ばれている鶴岡公園に行ってきた。時すでに遅しでした。

吉井直樹さん

友好クラブ訪問に楽しい時間を過ごせました。本日、畑様、井上様よろしくお願ひいたします。

伊藤浩志さん

昨日、鳥取県に行ってきた。全国で人口の一番少ない県だそうです。47都道府県を全制覇しました。砂丘でボーっとしてきました。

菊池 渉さん

石橋さんが欠席なので、運転手の私は信金内の駐車場に停めるのもエレベーターを使用することも遠慮して少し運動させてもらいました。

中林順一さん

バラの消毒液に展着剤(接着剤)を混ぜるのを忘れて消毒してしまいました。今週末にやり直します。認知症の始まりでしょうか。

嘉瀬一洋さん

地区の財団委員会の審査会に出席してきました。分からないことばかりですが、野崎さんに教えてもらいながら頑張りたいと思います。

小林吾郎さん

三条東RCさんようこそ。教育委員会事務局 畑さん、井上さん卓話よろしくお願いします。

野水靖之さん

本日もよろしくお願いします。

白倉徳幸さん、松永隆夫さん、小林卓哉さん、小越憲泰さん、松永一義さん、関川 博さん、成田秀雄さん、石倉政雄さん、長谷川正実さん、安達俊明さん、早川滝徳さん、高橋 司さん、杉山幸英さん、落合孝夫さん、歸山 肇さん、白鳥 賢さん、柳取崇之さん、野崎喜一郎さん、丸山行彦さん

三条市教育委員会の畑様、井上様、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

4月23日分 ￥ 35,000
今年度累計 ￥1,133,000

「トリムの森 草刈り」 参加ご協力 のお願い



野水靖之
社会奉仕委員長より

日 時 5月31日(土) 午前7時より

集合場所 トリムの森

※ 雨天決行とさせていただきます。
各自雨具のご用意をお願いいたします。
※ 当日の参加はメイクアップ扱いになります。

5月のお祝い



◎夫人誕生祝

4日 飯塚みどりさん(一樹さん)
15日 明田川みゆきさん(賢一さん)
16日 歸山 敬さん(肇さん)
24日 小林香子さん(仁志さん)
28日 小林仁美さん(卓哉さん)
29日 清水亜矢子さん(泰生さん)

◎会員誕生祝

1日 成田秀雄さん
8日 菊池 渉さん
17日 松永一義さん
19日 白鳥 賢さん
20日 落合孝夫さん
22日 明田川賢一さん
28日 吉井直樹さん

◎結婚記念祝

1日 近藤雄介さん(律子さん)
3日 五十嵐博宣さん(美和さん)
5日 伊藤浩志さん(清香さん)
5日 小越憲泰さん(百合子さん)
8日 佐野勝榮さん(美知子さん)
20日 菊池 渉さん(まゆみさん)

卓話 「みんなでつくる三条市の小中一貫教育」



三条市教育委員会 教育センター 統括指導主事 畑 宏幸 様

三条市教育センター統括指導主事の畑宏幸です。今日は、三条市の小中一貫教育について、説明させていただきます。

合い言葉は、「みんなでつくる三条市の小中一貫教育」です。

まず、三条市の小中一貫教育は、教育哲学であり、教育方針であり、具体的手段でもあります。小中一貫教育が目的ではありません。小中一貫教育を通じて、目指す子ども像に迫ることを大切にしています。

これは、三条市が小中一貫教育を導入した経緯です。平成25年に小中一貫教育を全市に導入しました。そして、平成29年に、中学校区を単位とする学園制を導入し、各学園の呼称を設定しました。平成30年に、県内初の義務教育学校、大崎学園を開校しました。令和2年には、全ての学校でコミュニティ・スクールを導入しています。また、コミュニティ・スクールにおいては、三条市独自の取組として中学校区である学園を単位とした、学園運営協議会を設置しています。これは全国でもめずらしい協議体です。

三条市の小中一貫教育のねらいは大きく3つです。これは、平成20年に制定された「三条市小中一貫教育基本方針」にあるものです。

一つ目は、たくましく、すこやかに生きる力の育成です。ポイントは、三条市の豊かな教育資源を生かす、子供たちの体験活動、地域ぐるみの健全育成、異学年交流、そして、自分を大切に、人を思いやる心、人とかかわる力です。

二つ目は、心身の発達を考慮した見通しのある連続性の確保です。ポイントは、9年間の心身の発達を考慮した連続する教育課程、見通しのある教育です。

三つ目は、学園で一体となった教育環境づくりです。ポイントは、小中学校間の連携・交流、地域と一体、欄外になりますが、小中一貫カリキュラムの活用、乗り入れ授業などの教職員の交流・連携です。

保護者や地域と一体となった学園・学校づくりを推進します。

では、具体的な三条市での小中一貫教育の取組について説明します。小中一貫教育を推進するための取組は大きく4つです。

「学園制」について説明します。三条市には中学校区を単位とした8つの学園と義務教育学校である大崎学園の9つの学園があります。

各学園には、学園長、副学園長、小中一貫教育推進リーダーが、各学校には小中一貫教育コーディネーターがそれぞれいて、学園の小中一貫教育について企画・運営などのコーディネートをしたり、連絡調整したりする役割を担い、学園の小中一貫教育を推進します。

こちらは三条市の小中一貫校の概観です。各学校を小中一貫教育校とし、それぞれの中学校区に学園呼称をつけています。青色が一体型の小中一貫教育校、黄色が校舎が分離している小中一貫教育校、そして緑色が、義務教育学校です。

これは、昨年度の三条学園のグランドデザインです。各学園に、それぞれグランドデザインがあります。ここには目指す子供像など、学園の目指す方向性がつまっています。各学園が力を入れていることが、学園グランドデザインから分かります。

次に、小中一貫教育カリキュラムについて、説明します。

三条市では、小学校と中学校を連続する9年間の育ちと学びと捉え、3つの指導区分

小1から小4の基礎充実期

小5～中1の活用期

そして中2・3の伸長期に分け、発達段階に応じて指導内容を明確にして日々の学習・生活指導に取り組んでいます。

各区分の重視すべき指導内容を大切に、学習指導や学級・学校経営に活かしています。

また、学園ごとに作成する小中一貫教育カリキュラムは、各教科・領域における学園の子どもの実態や指導の重点等をまとめた「指導の構想」と小中学校の単元のつながりを視覚化した「学びの系統表」で構成されています。

各教科における単元の系統性を踏まえ、学習内容や学習方法の連続性を確認して授業づくりを行い、地域資源の活用の視点も盛り込みながら9年間のつながりを意識した学習指導を推進します。

次に、交流活動について、説明します。

交流活動については、今年度、「異学年交流の活性化」と「地域をフィールドとした教育活動の充実」の2つにより推進します。今年度の重点です。

「異学年交流」については、小中学校の枠を超えて計画的に行います。異学年交流を通して、下級生の上級生に対する「憧れ」意識と、上級生が下級生の役に立っていることから得られる「自己有用感」を醸成します。上級生は、下級生に教えることを通して、自らの学び直しにもつながります。また、複数の小学校がある学園においては、小学校同士の交流を推進し、活動を通してお互いを知り合い、円滑な中学校入

学につなげます。

次に「地域をフィールドとした教育活動」については、子どもたちが暮らす「地域コミュニティ」と職業という視点からの「事業者・企業と連携した活動」の2つのフィールドにおいて、9年間の発達段階に応じた体験活動を組織し、活動の中で子どもたちに実社会とのつながりを実感させていきます。これを図示すると次のようになります。

まず、小中一貫教育による「学園の目指す子どもの姿」に向けた9年間を見通した校内での教育活動に加え、子どもたちが将来たくましく生きていくためには、学校教育の段階で、実社会とつながりをもった様々な体験活動を通して学んでいく必要があります。

そこで、三条市は、「子どもたちの生活圏である地域コミュニティ」と、職業という視点からの「事業者や企業との連携」の2つの柱で、実社会とのつながりを実感させ、深めていきます。

まず、「子どもたちの生活圏である地域コミュニティ」です。地域の状況に応じて、学園・学校運営協議会などの支援・協力組織により、地域と学校をつないでいきます。現在、地域の皆さんと学校、学園が行っている活動を更に充実させ、また、新たな地域課題への取組を通して、学校と地域がつながることで、子どもたちのコミュニケーション力などを高め、社会参画の経験を増やし、「社会的自立」を目指します。

そしてもう一つ、「事業者や企業との連携」です。「事業者」と学校をつなぐために、「三条キャリア教育バンク」により、職場体験や職業講話、出前授業などの活動を充実させ、子どもたちの「新たな価値を生み出す力」や「未来を切り拓く力」などの向上を図り、子どもたちの主体的な職業選択へとつなげ、「職業的自立」を目指します。「三条キャリア教育バンク」については、後ほど説明します。

今お話しした交流活動と大きく関係してきますが、実社会とのつながりに関して、今年度の重点である「三条市の特色を生かしたキャリア教育の充実」の推進です。三条市では、キャリア教育を「自分と実社会とのつながりを実感し、未来を切り拓く学び」と捉え、子どもたちの社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育みます。

更なる充実のために、今年1月に「三条キャリア教育バンク」を開設し、ここにある合い言葉「地域ぐるみで子どもを育む すべてはふるさとの未来のために」に共感された事業者の方から登録いただいています。事業者側の「ものづくり体験をさせたい」「仕事の魅力を知ってほしい」というニーズと学校側の「児童生徒の多様なニーズに応じた教育活動を展開したい」というニーズを、可能な限りマッチングさ

せ、体験活動の充実を図り、児童生徒が社会とのつながりを実感できるようにしていきます。本日現在、73の事業者の方々からご登録いただいています。現在も登録を募っているところであります。ご協力いただければ幸いです。

これは、三条キャリアバンクへの登録をお願いするチラシです。

お手元にも配付してありますので、登録と周知について御協力いただけるとありがたいです。

次に、三条市授業スタンダードについて、説明します。

三条市では、「三条市授業スタンダード」に基づく授業の推進を行っています。

「三条市授業スタンダード」は、授業づくりのポイントを大きく5つ、「スタートラーニング」、「学習問題」、「対話」、「まとめ」、「振り返り」に整理してまとめたものです。

子どもの問題意識を大切にし、教師が一方的に話すのではなく、子どもとの対話をとおして、その授業においてクラスのみんなで考えたり、解決したりしていく内容を、学習問題として設定し、子ども主体の授業づくりを推進しています。

以上が小中一貫教育の4つの取組です。

正直なところ、感染禍を受けて、三条市の小中一貫教育活動が途切れたり、足踏みをしている現状も見受けられます。そこで、今年度、校長先生を始め先生方と、「三条市小中一貫教育の原点回帰と再創造」を合い言葉に小中一貫教育を推進しています。三条市が小中一貫教育を始めた当時の思いやねらいを先生方みんなで確認し、先輩の先生方から脈々と受け継がれてきた各学園の財産を大切にしながら、「新しい三条市の小中一貫教育」をみなさんと一緒に、再創造していきたいと考えています。

小中一貫教育を推進する上で、皆様から様々な場面でお力をお借りすることがあるかと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。



「三条市の奨学金制度について～ 諸橋轍次博士奨学金～」



三条市教育委員会 教育総務課
庶務係長 井上貴子 様

本日はお時間をいただき、ありがとうございます。

私は、教育総務課で奨学金を担当しております、庶務係長の井上貴子と申します。よろしくお願いします。

いたします。

では、諸橋轍次博士奨学金の冊子に沿って説明させていただきます。

三条市では、家庭の経済的な事情によらず、自らの将来を切り拓き、義務教育終了後も希望する進路で学びたいという子どもの意欲を大切にするため、諸橋轍次博士奨学金を実施しております。

冊子の2、3ページを御覧ください。本奨学金は、「諸橋轍次博士」の名を冠しております。皆様も御存じのことと思いますが、諸橋博士は、三条市の名誉市民でいらっしゃいます。

諸橋博士は、中段の黄色で年齢を示している「あゆみ」のとおり、教員を務めるとともに、当時ではめずらしい中国への留学を果たし、数々の困難を乗り越え、32年をかけて漢字5万字、語彙50万以上を収録した「大漢和辞典」を完成させました。

一方で、この偉業を支えたサポーターの存在があります。下段のイラストで主なサポーターの方々を表記させていただいています。このサポーターの方々が陰ながら導き、支えてくれたことで偉業を達成できたとも言えます。

4、5ページを御覧ください。三条市では、諸橋博士のように、がんばりたい子どもたちが金銭面で諦めることが無いよう、奨学金で金銭面のサポートをしています。本奨学金は、令和4年度までは「大学生等奨学金」、「看護職員奨学金」の2種類でしたが、令和5年度に「高校生等奨学金」と「海外留学奨学金」、令和6年度に「三条市立大学奨学金」が加わり5種類となっております。奨学金の概要は4ページ記載のとおりです。返済が伴う「貸与型」と、返済不要の「給付型」がありますが、貸与型でも返還免除制度を設け

ています。

5ページから9ページまでは各奨学金の奨学生のインタビューです。学びたい気持ちや就きたい職業のために、奨学金を活用して頑張っている姿が見られます。

10、11ページを御覧ください。本奨学金は諸橋博士の御家族や市民の方からの御寄附を原資とする、諸橋轍次博士奨学基金で成り立っています。令和6年度は5つの奨学金で約140人の子どもたちをサポートしました。子どもたちのために、三条市の人材育成のために、これからもより長く、子どもたちをサポートし続けられるように、皆様方にサポーターになっていただく事を御検討いただきたくお願い申し上げます。

寄附のメリットといたしましては、中段に記載してありますように、子どもたちが経済的理由に左右されず学びの機会が広がり、多くの子どもたちへの応援となります。

また、税上の寄附金控除が受けられるとともに、三条市表彰などの対象となることで、社会的に貢献していることがPRでき、会社のイメージアップにも繋がります。

ちなみに、寄附の方法についてですが、まずは、私ども教育総務課に「迷っている」や「相談だけしたい」など気軽に御相談いただければと思います。また、11ページに記載のとおり、市外、県外の方へのふるさと納税での御寄附もできます。どの方法でも税金の控除が受けられる等メリットがあります。是非、冊子を御覧いただき、御検討ください。

最後になりますが、少子化を迎え、地域の宝である子どもを、側面から「みんなで育てる」、ひいては、将来の三条市の経済界で活躍する「人材育成」という観点からも皆様の温かい御支援を賜りますようお願いをさせていただき、本日のお話を終わりとさせていただきます。

本日は、お時間いただきまして大変ありがとうございました。

※卓話をいただきました三条市教育委員会・畑様ならびに井上様よりスライドショー画像の掲載は遠慮くださいとの申し出をいただいておりますので割愛しております。ご容赦ください。

次週例会 5月21日 「会員卓話」 吉井直樹 会員

次々週例会 5月28日 「外部卓話」 (株)相場紙器製作所
代表取締役 相場 浩 様

